

狭山市ふれあい健康センターPFI事業者選定委員会会議録

開催日時 令和8年3月13日（金）午前10時00分から午後4時45分まで

開催場所 狭山市ふれあい健康センター 2階研修室

出席者 大澤委員長、入江委員、難波委員、吉田委員、大谷委員

欠席者 無

事務局 堀口健康推進部次長、湯浅崎健康づくり支援課長、
高見健康づくり支援課主査、佐藤同主査、井ヶ田同主事

関係者 大日本ダイヤモンドコンサルタント株式会社 担当者2名

(コンサルタント) 株式会社地域デザインラボさいたま 担当者2名

傍聴者 無（非公開）

報道関係者 無（非公開）

議題 (1) 狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 民間事業者の選定について

(2) その他

(1) 「狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 民間事業者の選定」について

ア 選定結果

(ア)プレゼンテーション審査後、事務局より報告

事務局 熊谷組グループの提案内容点は760.5点、住協建設グループは684.0点であり、総合評価点は熊谷組グループが179.10点、住協建設グループ76.07点である。事業者選定基準において総合評価点が176点未満の場合については選定しないとなっており、住協建設グループはこれに該当する。

(イ)質疑なし

(ウ)採決

委員長が熊谷組グループを最優秀提案者に選定し、住協建設グループは

次点優秀提案者に選定しないことについて、委員会に諮った結果、異議なく承認された。

イ 答申書案の検討

(ア) 事務局より答申書案を説明

事務局 日付としては本日令和8年3月13日とし、本文は「令和7年7月3日付け狭健発第83号で諮問のあった狭山市ふれあい健康センターPFI(R0方式)事業 民間事業者の選定について、厳正かつ公正に審査を行った結果、下記のとおり最優秀提案者を選定したので、答申します。」とする。

- 1 最優秀提案者 熊谷組グループ
- 2 審査結果 事業者選定基準に基づいて委員ごとの総合評価点を算出し、全ての委員の総合評価点の平均値が最も大きい提案を行った熊谷組グループを最優秀提案者とした。
なお、事業者選定基準において、総合評価点の平均値が176.00点未満であった場合は最優秀提案者等に選定しないとしているところ、住協建設グループの総合評価点が176.00点未満であったことから、次点優秀提案者として選定しなかった。

(イ) 質疑

委員 総合評価の平均値が176点未満であった場合は選定しないと書いてあるが、なぜこのような条件にしたかというところは一切触れていないので、読んだ人はなぜ176点なのか全くわからない。説明はなくてよいのか。

事務局 答申書は市長宛ての文書であって公表資料ではないことから、事業者選定基準というところを明記した上で対応している。

委員 176点が目立ってしまうということだろう。176という数字が出ると、

それがどのような意味を持つのか疑問を持つ人が出てくる。

事務局 選定において示した基準を満たさなかったことから、という表記でよいか。

(ウ)採決

委員長が修正した答申書案を委員会に諮った結果、異議なく承認された。

(2) その他

委員 今後この熊谷組グループと交渉するにあたって、どの点を特に事業者に伝えるか。各委員から必ず伝えて欲しいということもあると思うので、それは別途意見聴取いただきたい。

例えば、高齢者向けの機能というものが不足している、運営面の特に子どもの安全管理、感染症も含めたものも重要だという意見、ユニバーサルデザインに関して視点があまり示されていないこと、新しい健康の視点の話、特に酷暑対策やリカバリーゾーン等、さらに外構部分について提案内容に課題があった。